

2023年度 授業シラバス

科目名	コミュニケーション技法	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 視聴者にいかに伝えたいことをしっかりと届けらるかを番組を実際に制作しながらスキルを身に着ける。							
【到達目標】 番組作りに必要なトークスキルを身に付ける							
【教員の略歴】 ラジオ番組パーソナリティや高校野球ハイライトを長年務めるなど視聴者からも支持を得ています。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介 & PR	①	オープニング～イントロ～コーナー④
②	オープニング①	②	エンディング①1分間のトーク内容を考える
③	オープニング②	③	エンディング②3分間のトーク内容を考える
④	オープニング③	④	エンディング③5分間のトーク内容を考える
⑤	オープニング④	⑤	エンディング④実践
⑥	オープニング～イントロ①	⑥	エンディング⑤振り返り
⑦	オープニング～イントロ②	⑦	番組制作①企画制作
⑧	オープニング～イントロ③	⑧	番組制作②オープニング制作
⑨	オープニング～イントロ④	⑨	番組制作③イントロ～曲紹介～
⑩	オープニング～イントロ	前期試験	⑩ 番組制作④フリートーク
⑪	オープニング～イントロ～コーナー①	⑪	番組制作⑤コーナー①
⑫	オープニング～イントロ～コーナー②	⑫	番組制作⑥コーナー②
⑬	オープニング～イントロ～コーナー③	⑬	番組制作⑦エンディング
⑭	オープニング～イントロ～コーナー④	⑭	番組制作⑧振り返り
⑮	オープニング～イントロ～コーナー⑤	⑮	総まとめ
準備学習 時間外学習	たくさんの作品に触れてください。	評価方法	試験・出席率・授業態度を総合的に評価します。
受講生への メッセージ	音楽にのせて喋れることを心掛けてください。	使用教科書 教材 参考書	特にありません

2023年度 授業シラバス

科目名	放送業界基礎知識	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ラジオそしてテレビの誕生から現在までの歩みを理解し、放送の役割・重要性を学ぶ。							
【到達目標】 放送業界の世界や成り立ちなど学び理解することによって放送業界で活躍できる人物を育てる。							
【教員の略歴】 ラジオ局で制作・報道・スポーツ・営業で社員として勤務。その後フリーディレクターとしてFM、AMラジオ局で働く							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	放送局の種類と形態①	①	放送と報道、放送と娯楽	
②	放送局の種類と形態②	②	番組編成、ネットワーク	
③	近畿のラジオ局について①	③	テレビ放送の誕生	
④	近畿のラジオ局について②	④	NHKテレビの変遷	
⑤	海外のラジオ放送誕生	⑤	民放テレビの発展・変遷①	
⑥	NHKラジオ放送の開始そして初期の番組①	⑥	民放テレビの発展・変遷②	
⑦	NHKラジオ放送の開始そして初期の番組②	⑦	民放テレビの発展・変遷③	
⑧	民放ラジオ局の誕生	⑧	民放の収入、広告会社	
⑨	民放ラジオ局の初期の番組①	⑨	CMソングの変遷、CMソング・モニター	
⑩	民放ラジオ局の初期の番組②	⑩	CMの投入方法、効果的なCM	
⑪	ラジオ番組の発展と変遷①	⑪	筆記試験	後期試験
⑫	ラジオ番組の発展と変遷②	⑫	放送とニューメディア	
⑬	筆記試験	前期試験	⑬	震災関連ラジオ番組モニター
⑭	ラジオ番組の発展と変遷③		⑭	注目のラジオ番組モニター
⑮	民放コンクール・優秀ラジオ番組モニター		⑮	放送業界について、そしてラジオに必要なこと
準備学習 時間外学習	とにかくまずラジオ・TV番組をたくさん聴く・観ること		評価方法	筆記試験 出席・課題提出など
受講生への メッセージ	真剣に授業に取り組まないのは自分にとって大きなマイナスです		使用教科書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名 (英)	番組・イベント企画	必修 選択	必修	年次	2	学科名	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 15分、30分の番組企画の作成及びプレゼンを行い、企画に基づきVTR収録にて番組制作を行う。後期は、卒業制作の準備及び作業チェックを行う。							
【到達目標】 番組企画力および番組での演出方法をTV番組制作とともに学ぶ。テレビ番組の企画書の作成とそれに伴うプレゼン方法、演出方法及び予算管理のノウハウを身につける。							
【教員の略歴】 制作プロダクションにて、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。現在、映像クリエイターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	番組の予算、編成、営業について。15分番組企画作成	①	30分番組完パケ作業
②	15分番組企画書作成と予算書作成	②	30分番組完パケ作業
③	15分番組企画プレゼン	③	30分番組プレビュー
④	30分番組企画書及び予算書作成	④	卒業制作の準備～制作する番組企画の発表
⑤	30分番組企画書及び予算書作成	⑤	卒業制作の準備(班分け、台本作成)
⑥	30分番組企画プレゼン	⑥	卒業制作の準備(台本作成、ロケ等)
⑦	30分番組企画プレゼン～制作する番組企画の発表	⑦	卒業制作の準備(台本作成、ロケ等)
⑧	30分番組制作期間(班分け、台本作成)	⑧	卒業制作の準備(スタジオ収録)
⑨	30分番組制作期間(台本作成、ロケ等)	⑨	卒業制作の準備(仮編集)
⑩	30分番組制作期間(台本作成、ロケ等)	前期試験	⑩ 卒業制作の準備(編集)①
⑪	30分番組制作期間(編集、MA作業)		⑪ 卒業制作の準備(編集)②
⑫	30分番組制作期間(編集、MA作業)		⑫ 卒業制作の準備(MA作業)
⑬	スタジオ収録		⑬ 卒業制作 リハーサル
⑭	スタジオ収録		⑭ 卒業制作 本番
⑮	スタジオ収録		⑮ 反省会
準備学習 時間外学習	たくさん映像を観てください。	評価方法	試験と出席率と授業への取り組み方及び、企画の獨創性、発想力。 プレゼンの態度、企画書の仕上がり度。
受講生への メッセージ	一つ上のクオリティを実現させよう！	使用教科書 教材 参考書	テレビモニター、再生用PC

2023年度 授業シラバス

科目名	マーケティング&プレゼンテーション	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 音楽番組をベースに、10分間の模擬番組を制作するにあたって 選曲やマーケティング調査を行い、ニーズに合わせたTALKパートの構成など番組を作るイメージ。							
【到達目標】 学生が個々に番組を制作する能力を養うと共に、企画・ディレクション・ミキシングまでを実施する。							
【教員の略歴】 様々な番組制作をディレクターとして担当。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	番組づくりにかかせないことは何か	①	構成・脚本・台本制作①	
②	人気番組をつくるには	②	構成・脚本・台本制作②～修正・フィードバック～	
③	マーケティング比較①～ラジオ番組～	③	キャスティング、各部署チーム分け	
④	マーケティング比較②～TV番組～	④	撮影準備①(プリプロダクション)	
⑤	マーケティング比較③～ライブイベント～	⑤	撮影準備②(ロケハン)	
⑥	マーケティング比較④～SNS～	⑥	撮影①	
⑦	プレゼン準備①	⑦	撮影②	
⑧	プレゼン準備②	⑧	撮影③(フィードバック、素材チェック)	
⑨	比較内容の発表①	⑨	編集①	
⑩	比較内容の発表②	前期試験	⑩ 素材チェック、修正	
⑪	プレゼンした中から実際に番組を作ってみよう	⑪	編集①(MA・アフレコ)	後期試験
⑫	企画会議①	⑫	本番	
⑬	企画会議②～修正、フィードバック～	⑬	アンケート集計	
⑭	企画会議③～修正、フィードバック～	⑭	番組 振り返り	
⑮	完成までのスケジュール確認	⑮	1年間の振り返り	
準備学習 時間外学習	たくさん映像を観てください。	評価方法	試験＋制作する番組の内容＋個人での判断能力	
受講生への メッセージ	作品を創ることの楽しさを覚えてください。	使用教科書 教材 参考書	特になし	

2023年度 授業シラバス

科目名	ステージ制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 実際の番組制作コースからの依頼を基に、準じたセットを構築しながら実践的な技術を習得していく。自らで考え、スケジューリングし、チームワークを身につける。							
【到達目標】 テレビの美術セットを理解し、コミュニケーションを取りながら制作する							
【教員の略歴】 演劇やダンスイベント、ミュージカルなどの舞台美術を担当、関西を中心に様々な団体からの依頼をこなす。同時にフリーランスの大道具も継続、テレビ局や劇場、各種イベントなど、幅広く活動している。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	前年度の反省と今年度の目標、抱負。復習。	①	架空の番組のセットの製作プランを構築する③
②	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作①	②	架空の番組のセットの製作プランを構築する④
③	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作②	③	架空の番組のセットの製作プランを構築する⑤
④	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作③	④	卒業制作のセットプランを構築①
⑤	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作④	⑤	卒業制作のセットプランを構築②
⑥	番組制作コースとの打ち合わせを基にプランを構築→製作⑤	⑥	卒業制作のセットプランを構築③
⑦	反省会。今後に必要なものの製作などをミーティング	⑦	卒業制作のセット製作①
⑧	美術製作の基本的な作業の技術的復習①	⑧	卒業制作のセット製作②
⑨	美術製作の基本的な作業の技術的復習②	⑨	卒業制作のセット製作③
⑩	試験	⑩	卒業制作のセット製作④
⑪	美術製作の基本的な作業の技術的復習③	⑪	試験
⑫	美術製作の基本的な作業の技術的復習④	⑫	卒業制作のセット製作⑤
⑬	美術製作の基本的な作業の技術的復習⑤	⑬	卒業制作のセット製作⑥
⑭	架空の番組のセットの製作プランを構築する①	⑭	卒業制作のセット製作⑦
⑮	架空の番組のセットの製作プランを構築する②	⑮	総評
準備学習 時間外学習	イベント当日までのスケジュールを自分たちで管理共有し、時間を潤滑に使う道程を確立し、円滑な作業が行えるように組み立てる。	評価方法	試験、授業(作業)への取り組み方。実行力、挑戦する意欲を見る
受講生への メッセージ	技術力は経験値で上がっていくものだから、出来ないことはマイナスではなく、やってみようと思う気持ちが大事です。	使用教科書 教材 参考書	セット制作に準ずる木材や資料。模型製作に必要なスチロール素材など

2023年度 授業シラバス

科目名	テレビ番組制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 「ライブスイッチング」をベースに様々な映像制作技術を学ぶ。また、イメージする力もこの授業で養う。							
【到達目標】 映像収録におけるシステムを把握した上で、収録に必要な技術(カメラワークや照明術)を学び、現場では状況に応じて各所的確に指示ができるようになる。							
【教員の略歴】 フリーランスで活動中。TV番組・TVCMはもちろん、映画・MV、ライブ配信までジャンルを問わない、様々な映像作品を制作する。企画から脚本、プロデュース、制作・演出・撮影・照明・編集までオールインワンにこなす、マルチクリエイター。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	生徒全員の自己紹介とこれから目指すものも聞く。「スイッチング」と編集作業との大きな違いなど解説。	①	YouTube映像の中から「スイッチング」に関係する作品を観覧し、分析と細分化を行うことで掘り下げる
②	スイッチングの未来 編集作業ができるAIは現存するが、スイッチングは人間が必要とされる根拠など	②	一人称の映像(インタビュー動画など)の撮影、カット割り・スイッチングなど実演を交え行う
③	スイッチング理論① 映像作品以外(HPや漫画・雑誌)の中にもある「スイッチング」を紐解き、解説する	③	二人称の映像(インタビュー・漫才など)の撮影、カット割り・スイッチングなど実演を交え行う
④	スイッチング理論② 映像作品全てに当てはまる編集技術「カット割り」からスイッチングを学ぶ。	④	多人称の映像(バラエティ番組など)の撮影、カット割り・スイッチングなど実演を交え行う
⑤	スイッチング理論③ 「フォトコラージュ」をシナリオ製作から行き、個々の作品を制作する。	⑤	一つの「5分番組」企画を役割分担しながら制作し、互いの評価も交えて「自分にできるもの」を見つける
⑥	スイッチング理論④ テンポ・音楽とスイッチングとの深い関係をMV等を観覧しながら解説。	⑥	前回の役割分担で務められなかった役割も体験し、「自分に合った役割とは」を導き出す
⑦	技術だけではなく、各所とのコミュニケーション能力の必要性を説き、そこを鍛えるための術を教える	⑦	イメージ力を豊かにするためのコツ① 他の映像作品を見てイメージを膨らます(パクリではない・パクリNG)
⑧	スタジオ収録に必要なシステムを実際の機材を見ながら、そして触れながら覚えていく。	⑧	イメージ力を豊かにするためのコツ② 映像以外の物から発想を得る
⑨	「カメラワーク」を細分化して学ぶ。引き・寄り・ミドル(特にミドルワークに重点を置く)	⑨	TV番組制作の未来について考え、それに備える① 様々な条件から制作できるもののアイデアを出し合う
⑩	照明技術を実際に機材を使用して理解する。屋内だけでなく、屋外の場合も含め教授する。	⑩	TV番組制作の未来について考え、それに備える② ソフト面だけでなく、ハード面(機器系)からも考える
⑪	収録時、各所への指示の出し方、コミュニケーションのとり方などソフト面について解説	⑪	誰かを喜ばせるための作品なのか、自己満足で終わるのか(商業作品とアート作品の違い。実際に観覧)
⑫	ブツ撮りについて 物を撮影する際の注意点やコツ、決まり事などを実際に撮影しながら教える	⑫	「未来の自分」が創りたい作品の企画・概要書作成
⑬	人物撮影について 人物を撮影する際の注意点やコツを音声収録を交えて教える	⑬	前回の回答の中から数点選び出し、「実現させるには」を様々な角度から分析し、アドバイスする
⑭	一つの商品を紹介するCMの絵コンテを制作	⑭	これまでの授業を振り返り質疑応答①
⑮	前週の絵コンテの中からいくつかを実際に制作する。カメラワーク・照明への指示、イメージの伝達・共有	⑮	これまでの授業を振り返り質疑応答②と総括
準備学習 時間外学習	●様々な映像の観賞 ●スマホで良いので、各人で映像・写真をたくさん撮る	評価方法	●出席率 ●コミュニケーション能力
受講生への メッセージ	「楽しくないと頭に入りにくい。厳しくないと体が覚えにくい。」 楽しい中にも厳しさのある授業を行います。	使用教科書 教材 参考書	●私物のDVDや資料・映像

2023年度 授業シラバス

科目名	ラジオ番組制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
機材の使い方や技術を講義と実技両面で学ぶ

【到達目標】
機材の知識を深めることによって対応力を磨く。

【教員の略歴】
映像学科卒 映像、音楽製作/メディアアーティスト 高等学校非常勤講師
イベント、ファッションショー、音楽ライブなどのVJ、映像演出、プロジェクションマッピング、近年はV-tuberの技術サポート等
某匿名Vocaloidプロデューサーでありバンドマンでもある

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	音がよいとは		①	EFX 空間	
②	ケーブルについて		②	EFX ダイナミクス	
③	電気と周波数		③	EFX その他色々	
④	マイク1 種類		④	DAW1 編集方法について	
⑤	マイク2 使い方		⑤	DAW2 ルーティング	
⑥	ミキサー1 入力方法を学ぶ		⑥	DAW3 エフェクトの使い方、テクニック	
⑦	ミキサー2 出力方法を学ぶ		⑦	DAW4 MIDI	
⑧	ミキサー3 EQの使い方		⑧	DAW5 オートメーション	
⑨	レコーダー1 デッキの使用方法について		⑨	CLUB DJ mix	
⑩	テスト		⑩	CLUB DJ mix	
⑪	レコーダー2 収録を学ぶ		⑪	テスト	
⑫	レコーダー3 DAW		⑫	ラジオ制作・企画	
⑬	ラジオ制作		⑬	ラジオ制作	
⑭	ラジオ制作		⑭	ラジオ制作	
⑮	前期まとめ		⑮	後期まとめ	
準備学習 時間外学習	ラジオ番組や音楽を沢山聴くこと		評価方法	試験・出席重視	
受講生への メッセージ	とにかく貪欲に楽しく		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2023年度 授業シラバス

科目名	映画制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 アドビクリエイティブクラウドのソフトウェアを基本に使用して映像デザインという見た目にこだわる視点で作品を仕上げる							
【到達目標】 映像制作に必要なデザインの重要性を知り、それぞれのデザインセンスの可能性を広げる。							
【教員の略歴】 Event、GraphicDesign、WebDesign、映像制作をフリーランスで手掛け、現在は代表を務めている。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	デザイン概論	①	映像デザイン応用01 企画	
②	デザイン基礎01 企画	②	映像デザイン応用02 台本	
③	デザイン基礎02 台本	③	映像デザイン応用03 撮影方法の構築	
④	デザイン基礎03 撮影方法の構築	④	映像デザイン応用04 撮影準備	
⑤	デザイン応用01 撮影準備	⑤	映像デザイン制作01 撮影	
⑥	デザイン応用02 撮影	⑥	映像デザイン制作02 撮影	
⑦	デザイン応用03 撮影	⑦	映像デザイン制作03 編集	
⑧	デザイン応用04 編集	⑧	映像デザイン制作03 試写	
⑨	デザイン応用05 MA	⑨	デザイン再構築01	
⑩	デザイン応用06 試写	前期試験	⑩ デザイン再構築02	
⑪	総評	⑪	品評会	後期試験
⑫	空間デザイン	⑫	企画・制作	
⑬	伝わるデザイン	⑬	映像デザイン制作01	
⑭	テーマに合わせたデザイン	⑭	映像デザイン制作02	
⑮	前期まとめ	⑮	総評	
準備学習 時間外学習	美術館、作品展などいろんなジャンルの作品に触れてください。	評価方法	試験・出席率・提出物	
受講生への メッセージ	一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	特になし	

2023年度 授業シラバス

科目名	音楽制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 AVID ProToolsの操作だけでなく、音響技術者としてのテクニックを実践的に機器を使用して総合的に学びます。							
【到達目標】 プロツールズを使用して録音したラジオ番組の編集やラジオ番組制作での効果音作りが出来るようになることを目指します。							
【教員の略歴】 テレビ音声(スタジオ/ロケ/各種中継)・整音技術・ライブイベント音響を数多く手がける。ロケから中継まで幅広く手がける。音響ではツアーなどにおける音響オペレーターやシステムチューニングを担当。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	講義の進め方、ProToolsの概要	①	課題制作 音楽番組企画作成	
②	ProToolsの使用方法	②	課題制作 予算書作成	
③	編集実習(CD音源)	③	課題制作 班分け	
④	編集実習(CD音源)	④	課題制作 台本作成	
⑤	編集実習(素材)	⑤	課題制作 PVロケ①	
⑥	編集実習(素材)	⑥	課題制作 PVロケ②	
⑦	編集実習(素材)	⑦	課題制作 (編集、MA作業)①	
⑧	ミキシング実習	⑧	課題制作 (編集、MA作業)②	
⑨	録音の方法	⑨	課題制作 テロップ作成	
⑩	実技試験	前期試験	⑩ 課題制作 ポスター作成	
⑪	録音素材の編集	⑪	課題制作 フライヤー作成	
⑫	録音素材の編集	⑫	課題制作 リハーサル	
⑬	録音素材の編集	⑬	課題制作 本番	後期試験
⑭	録音素材の編集	⑭	課題制作 反省会	
⑮	録音素材の実習	⑮	まとめ	
準備学習 時間外学習	Macの操作方法、ソフトウェアの操作方法が主になります。台数が限られるため、空いた時間に復習したり、不明な点は次回授業までに解決しておく努力が必要です。	評価方法	出席率、試験での評価、積極性や課題への取り組みなど平常点を総合的に評価します。	
受講生への メッセージ	PCを使った授業になります。PCが苦手な人も多いかと思いますが、ソフトウェアの操作方法を覚えれば作品を創ることが可能です。苦手と思わずに、まずは触ってみて楽しみながら進めていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	ProToolsの操作方法が書かれた教科書が多数ありますので、自分で読みやすいものを1冊でも揃えておくといいでしょう。	

2023年度 授業シラバス

科目名	イベント制作	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
自分たちで考えたイベントを実施、必ずイベントを開催する							
【到達目標】							
制作、照明、音響の垣根を無くし、全員で協力しイベントを作っていく。 そして、本番の集客やイベントを通して成功体験を学んでもらう。							
【教員の略歴】							
VP、CM等の広告映像を中心に、モーショングラフィックス、地域プロモーション、展示映像、ライブステージ映像等の制作をしています。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション / グループ分け	①	グループ分け / 各チームのイベント日を確定 ◆後期第1ブロック イベント準備①
②	各チームのイベント日を相談、確定	②	後期第1ブロック イベント準備②
③	Visionの使い方、映像、パワポの出力方法	③	後期第1ブロック Aチーム(仮) 本番
④	前期イベント企画会議	④	後期第1ブロック Bチーム(仮) 本番
⑤	Visionを使った全体イベント①	⑤	後期第1ブロック Cチーム(仮) 本番
⑥	写真撮影	⑥	イベント対策 ◆後期第2ブロック イベント準備①
⑦	◆前期第1ブロック イベント準備①	⑦	後期第2ブロック イベント準備②
⑧	前期第1ブロック イベント準備②	⑧	後期第2ブロック Aチーム(仮) 本番
⑨	前期第1ブロック Aチーム(仮) 本番	⑨	後期第2ブロック Bチーム(仮) 本番
⑩	前期第1ブロック Bチーム(仮) 本番	⑩	後期第2ブロック Cチーム(仮) 本番
⑪	前期第1ブロック Cチーム(仮) 本番	⑪	◆後期第3ブロック イベント準備
⑫	◆前期第2ブロック イベント準備	⑫	後期第3ブロック Aチーム(仮) 本番
⑬	前期第2ブロック Aチーム(仮) 本番	⑬	後期第3ブロック Bチーム(仮) 本番
⑭	前期第2ブロック Bチーム(仮) 本番	⑭	後期第3ブロック Cチーム(仮) 本番
⑮	前期第2ブロック Cチーム(仮) 本番	⑮	Visionを使った全体イベント②
準備学習 時間外学習	授業で決め切れなかったことは自発的にチームで相談し進める	評価方法	イベント準備期間の制作を通しての関わりかた 必ずイベントを開催する、本番の姿勢
受講生への メッセージ	イベント本番まで、各部署関係なく全員で企画や運営、準備をし イベントを作る授業になります。 各チームに分かれるのでチーム内でコミュニケーションを取り 協力し合い張り切ってイベントを作っていきましょう！	使用教科書 教材 参考書	データを保存するためにUSBは必ず持参 外付けHDD、SSDを持っている方は持参

2023年度 授業シラバス

科目名	PA演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 イベントに対する対応力や機材に関する知識を身につける。また、機材を使用して基本的な使用方法から応用までを実践していく。							
【到達目標】 PA基礎の復習から進み実践的なシステム構築、プランなどを習得する。							
【教員の略歴】 音響会社に入社後、レコーディングエンジニア兼PAエンジニアを担当し現在に至る。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	音響知識～ケーブルの構造・電源～	①	前期 復習①
②	音響知識～マイク/DI/スピーカーに関する知識～	②	前期 復習②
③	知識小テスト・PAシステムプランについて	③	Danteシステム 応用① ドラムのセッティング
④	PA/SRシステム構築①	④	Danteシステム 応用② ギター・ベースのセッティング
⑤	PA/SRシステム構築②	⑤	Danteシステム 応用③ ヴォーカル・コーラスのセッティング
⑥	オペレーション実技① ～EQ～	⑥	チューニング実習～FOH～
⑦	オペレーション実技② ～音響効果～	⑦	チューニング実習～モニター～
⑧	オペレーション実技② ～ダイナミクス～	⑧	音源編集
⑨	ミックス実習	⑨	音響実習① 音域の調整
⑩	前期試験	⑩	音響実習② システム修正
⑪	デジタルネットワークについて	⑪	後期試験
⑫	Danteシステム構築①	⑫	イベント実習①ドラムのセッティング
⑬	Danteシステム構築②	⑬	イベント実習②ギター・ベースのセッティング
⑭	Danteシステム構築③	⑭	イベント実習③ヴォーカル・コーラスのセッティング
⑮	Danteシステム構築④	⑮	1年間の振り返り
準備学習 時間外学習	1年生の時に習った内容の復習	評価方法	実技・筆記試験・出席率・授業への姿勢
受講生への メッセージ	自分がイベントや現場に参加した後、分からなかった事・気になった事等はしっかりメモ等して学習していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2023年度 授業シラバス

科目名	マネジメント演習	必修 選択	必修 選択	年次	2	学科	メディアクリエイイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
タレントマネージャーに必要な能力の獲得							
【到達目標】							
在学中または卒業後にプロの現場に出ても即戦力で活躍できるようになること							
【教員の略歴】							
全国公開映画などのプロデューサー 演技事務							

前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	マネージャー基礎学習1			①	映画ドラマ制作工程概論とキャスティングの考え方		
②	マネージャー基礎学習2			②	台本とカメラのある演技		
③	マネジメント方針について			③	オーディション概論Ⅱ		
④	新人発掘基礎			④	オーディション実践Ⅱ		
⑤	新人発掘プレゼン			⑤	新人発掘実践(映像演技受講生と合同で班分け)		
⑥	プロフィール作成Ⅰ-①			⑥	マネジメント方針について班ごとプレゼンテーション		
⑦	プロフィール作成Ⅰ-②			⑦	プロフィール作成Ⅱ-①		
⑧	新人プロモーションプレゼンテーションⅠ			⑧	プロフィール作成Ⅱ-②		
⑨	映像プロフィール作成Ⅰ-①			⑨	映像プロフィール作成Ⅱ-①		
⑩	映像プロフィール作成Ⅰ-②			⑩	映像プロフィール作成Ⅱ-②		
⑪	情勢リサーチⅠ			⑪	情勢リサーチⅡ		
⑫	アタックリスト作成Ⅰ-① 試験		前期試験	⑫	アタックリスト作成Ⅱ-①		
⑬	アタックリスト作成Ⅰ-②			⑬	アタックリスト作成Ⅱ-② 試験		後期試験
⑭	アタックリストプレゼンテーション			⑭	新人タレントプレゼンテーション		
⑮	前期の復習			⑮	後期の復習		
準備学習 時間外学習	毎月教材提示(映画・ドラマ・小説・雑誌など)			評価方法	試験 授業への積極参加と、成果物		
受講生への メッセージ	即戦力として卒業後に活躍できることを最終戦に授業を組みます			使用教科書 教材 参考書	初回ガイダンス時に作品提示		

2023年度 授業シラバス

科目名	業界研修	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	240 (16単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 Premiereなどの編集ソフトを使った映像制作							
【到達目標】 企画・撮影・編集まで、自分達で映像制作が出来るようにする。							
【教員の略歴】 企業CM、テーマパークの屋外映像、TVアニメシリーズ デジタルワークス、アーティストライブステージ映像、芸人イベントオープニング映像などの映像制作を手掛けている。							
前期				後期			
授業計画・内容				授業計画・内容			
①	オリエンテーション			①	テーマ「HAPPY」課題①-企画		
②	Premiereの使い方①			②	テーマ「HAPPY」課題②-準備・撮影		
③	Premiereの使い方②			③	テーマ「HAPPY」課題③-編集1		
④	グループ課題①-企画			④	テーマ「HAPPY」課題④-編集2		
⑤	グループ課題②-準備・撮影			⑤	テーマ「HAPPY」課題⑤-合評会		
⑥	グループ課題③-編集1			⑥	自由課題①-企画		
⑦	グループ課題④-編集2			⑦	自由課題②-準備・撮影		
⑧	グループ課題⑤-合評会			⑧	自由課題③-編集1		
⑨	After Effectsの使い方①			⑨	自由課題④-編集2		
⑩	After Effectsの使い方②		前期試験	⑩	自由課題⑤-合評会		
⑪	個人課題①-企画			⑪	卒業課題①-企画		後期試験
⑫	個人課題②-準備・撮影			⑫	卒業課題②-準備・撮影		
⑬	個人課題③-編集1			⑬	卒業課題③-編集1		
⑭	個人課題④-編集2			⑭	卒業課題④-編集2		
⑮	個人課題⑤-合評会			⑮	卒業課題⑤-合評会		
準備学習 時間外学習	撮影などを授業外で行ってもらう場合もあります。			評価方法	試験、出席率、完成した課題作品での評価		
受講生への メッセージ	初めて映像編集をする方が多いとは思いますが、授業を通して「映像編集って楽しいな」と思ってもらえると嬉しいです。			使用教科書 教材 参考書	ハードディスク、USBメモリー、ノート、筆記用具		

2023年度 授業シラバス

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	2	学科	メディアクリエイト科 昼間Ⅱ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 15分番組の収録を通して、ENG・VTR制作・CM制作・スタジオ収録に関して学ぶ。							
【到達目標】 TV番組制作を通して番組づくりの基礎や技術とのコミュニケーション力や指示力を身に付ける。							
【教員の略歴】 制作プロダクションにて、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。 現在、映像クリエイターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。							

前期		後期		
授業計画・内容		授業計画・内容		
①	顔合わせ	①	制作期	
②	制作・技術 分科会	②	各班 制作・技術ミーティング	
③	仕込み・リハ	③	制作期	
④	本番	④	各班 制作・技術ミーティング	
⑤	各班 制作・技術ミーティング	⑤	制作期	
⑥	制作期	⑥	各班 制作・技術ミーティング	
⑦	各班 制作・技術ミーティング	⑦	制作期	
⑧	制作期	⑧	各班 制作・技術ミーティング	
⑨	スタジオにてドライリハ	⑨	制作期	
⑩	リハーサル	前期試験	⑩ 各班 制作・技術ミーティング	
⑪	前期 制作映像反省会	⑪	制作期	後期試験
⑫	制作期	⑫	各班 制作・技術ミーティング	
⑬	各班 制作・技術ミーティング	⑬	制作期	
⑭	制作期	⑭	各班 制作・技術ミーティング	
⑮	制作期	⑮	総評	
準備学習 時間外学習	各班の制作に準ずる	評価方法	作品のクオリティー 試験・出席率	
受講生への メッセージ	全員が協調制を持って参加することが大切です。 積極的に参加してください。	使用教科書 教材 参考書	特になし	